

研究計画書

1.研究の名称

当科における過去 10 年間の高齢者顎骨骨折についての臨床的検討

2.研究の実施体制（研究機関名称及び研究者氏名）

単施設研究

研究代表者：伊藤慎一郎（所属：都立墨東病院 歯科口腔外科）

3.研究の背景、目的及び意義

近年、高齢者人口の急速な増加とともに高齢者の顎骨骨折は増加傾向にあると言われている。そこで今回、都立墨東病院歯科口腔外科を受診した 65 歳以上の高齢者の顎骨骨折症例（75 例）について臨床的検討し、高齢者外傷の特徴や治療時の問題点等を明らかにする。

4.研究の方法及び期間

2007 年 1 月から 2016 年 12 月までの 10 年間に当科を受診した、65 歳以上の顎骨骨折症例 75 例を対象とする。

診療録をもとに男女比、受傷原因、受傷部位、治療方法などについてレトロスペクティブに検討する。

5.研究対象者に生じる利益と不利益

蓄積データの二次利用であり、患者に利益または不利益は生じない。

6.資料・情報の保管方法及び破棄の方法

データは配布された USB で保存する。

7.研究の資金源等、研究に関わる利益相反

本研究における報告すべき利益相反は存在しない。

8.研究に関する研究成果の公表方法

第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会にて口演発表